

第1回 定例会

予算審査特別委員会審査報告

一般会計など全予算を“可決”

本定例会では、第1および第2予算審査特別委員会を設置し、3月17日から19日まで各委員会を開催し、令和7年度一般会計1件、特別会計4件及び事業会計2件の予算について審査を行いました。

旧スマイルビルの維持管理

問 旧スマイルビル囲い込み設置等工事の内容について伺う。

答 外壁やガラスなどの破損による剥落から歩行者の安全を確保するため、敷地の外周への安全対策用のフラットパネルの設置を行う工事と、外壁に取り付けられている2カ所の突き出し看板の撤去を行うものです。

病院経営強化

問 滝川市立病院経営強化プラン実施支援業務について伺う。

答 本業務は専門のノウハウを持つ事業者に委託し、滝川市立病院経営強化プランの達成に向けた取り組みを支援するもので、各取り組みの進行管理や検証・提案を常時行うほか、医師ヒアリング等を隔月で実施しています。令和7年度からは、経営強化検討会議の取り組みへのサポートを加えるほか、毎月のヒアリング実施などを通じて支援強化を図ります。

固定資産税

問 固定資産税の予算額増額に伴い、予定される新築住宅の件数について伺う。

答 令和7年度は、木造が43棟、非木造の建物は19棟の合計62棟を想定しています。

母親のためのレスパイトケア事業

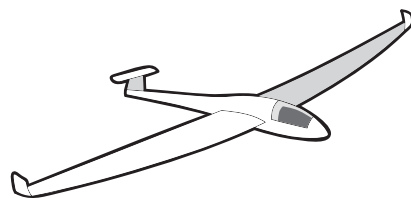
問 母親のためのレスパイトケア事業の料金設定について伺う。

答 利用される方にご負担いただく費用は、お子さんの一時預かりに係る費用で、ファミリー・サポート・センターなどの利用料金と同額の1時間当たり500円とする予定です。

グライダーを活用したワーケーション事業

問 グライダーを活用したワーケーション事業の成果について伺う。

答 これまでの参加者数は31名であり、その方々に何度も訪れていただいています。また、事業の実施により大学のグライダー部の合宿の誘致や、企業版ふるさと納税や個人版ふるさと納税の寄付をいただいているほか、事業誘致に向けた企業連携なども現在進めています。



鳥獣被害防止対策

問 アライグマ用の箱罠は何台購入を予定しているのか。

答 令和7年度は15台を予定しています。

公園の改修等

問 公園の造成にあたって、熱中症対策は考えているのかを伺う。

答 休憩施設としての東屋や水飲み場の配置、木陰になる樹木やベンチを新たに設置していく方針です。

問 松庫公園の改修工事の内容について伺う。

答 令和6年に実施した地元説明会等でいただいたご意見を踏まえ、老朽化した遊具等を全面的に改修し、公園機能の向上を図っていきます。



污水管の保守点検

問 污水管の保守点検は日頃念入りに行っていると思うが、地面の下は日常で目にしない部分のため市民も心配をしている。事故を防ぐための対策について伺う。

答 污水管の管理については、令和2年から6年までの間で、幹線管路など約46kmのテレビカメラ調査を実施し、対策が必要な箇所については改修工事などを行っています。また、幹線以外の管路については、管路清掃を継続的に実施し、状況把握に努めています。

ワクチン接種

問 インフルエンザ、肺炎球菌予防接種などの周知方法について伺う。

答 広報紙やホームページで周知をしています。肺炎球菌については、65歳の方が対象となるため、誕生月の翌月にはがきでお知らせをしています。今後は、医療機関にチラシを設置するなど周知の強化に努めます。

國學院大學北海道短期大学部

問 「國學院大學北海道短期大学部将来に向けたまちづくりへの波及効果等調査分析業務」の内容について伺う。

答 開学50周年、その先の将来を見据えた國學院大學北海道短期大学部のさらなる魅力化に向けた取り組みや、大学を起点としたまちづくりの推進に向け、同学部の存置による経済波及効果に関する調査やステークホルダーに関する調査等を行うとともに、同学部の特色や独自性などのさらなる可視化を図るものです。

問 「國學院大學北海道短期大学部プロモーションプロジェクト補助金」の内容について伺う。

答 学生募集強化の取り組みの一環として、國學院大學北海道短期大学部と市が連携し、PRコンテンツの作成やそれらを活用したテレビ番組やラジオ番組でのPR、進学相談会出展数拡大に向けた出展料の補助などを行うものです。

介護サービス

問 前年度に比べ、歳入が大幅に減っているが、高齢者への介護サービスに影響がないのかを伺う。

答 歳入が減っている主な要因は、介護保険サービスの利用減少に起因しており、保険給付費が減ったことで国や北海道からの負担金交付が減少したためです。このため、介護保険サービスの利用については影響がないと考えています。

医師の減少

問 麻酔科と整形外科の医師が減ることにより、手術に影響がないのか見解を伺う。

答 常勤医師が減ることで、手術に影響が出てくると考えます。大学医局から麻酔科、整形外科の出張医を派遣していただけるよう調整していますので、影響を可能な限り抑えていきたいと考えています。

予算審査特別委員会 における各会派討論



◎新政会

歳入では、ふるさと納税が滝川産「ゆめぴりか」を中心に寄付額を大きく伸ばし、今後も期待ができる。駅前再開発事業が一旦停止に至った経緯については、今後市民に対する丁寧な説明が必要である。滝川市立病院の財政立て直しには、経営検討会議に加え、より広く市民の声を聴くことも重要と考える。市が運行主体となる市内バス路線は、広く利用者の声を聴きとる配慮が必要である。また、こども家庭センターの設置により、今まで以上に子育て支援の充実が図られることを期待する。

病院事業会計については、病床の削減など診療体制を見直し、実態に即した体制を維持することだが、職員の雇用環境に対して、影響のない経営改善策の策定に努められたい。また、モデル推進区域の協議に臨むにあたり、医師の確保に努められたい。

◎市民ネットワーク

歳入では、ふるさと納税の大幅な増額、ふるさと基金については令和6年度見込み額に対し令和7年度は約6億2千万円を積み増すことができた。ふるさと納税返礼品の新規提供者を募り、さらに魅力ある返礼品の開発に尽力いただきたい。歳出では、新規事業として新しい海洋センター整備に関する事業や、母親のためのレスパイトケア事業など、将来の滝川を担う子どもや母親のための事業が進展することに大いに期待する。本市を代表する観光各所が1つに集

中することから、少なくとも年間約30万人の集客を見込めるよう尽力いただきたい。駅前再開発や市立病院の経営課題、滝川第一小学校の建て替えについては、慎重かつ本市の将来像を見据えた計画となることを強く要望する。

病院事業会計については、今後も経営改善に向けた病院運営へのさらなる検討を望む。

◎会派清新

行かない窓口の実現は、市民の利便性に加え、職員の業務効率化及び将来的な経費削減が見込まれるが、災害時にも安定したサービスを提供するため、必要な対策を講じていただきたい。市内バス路線については、新たな路線の検討も含め、実情に合った柔軟な運営を切に望む。母親のためのレスパイトケア事業は、本市独自の事業であり、移住促進の面も含め、より幅広い展開を大いに期待する。

公営住宅については、4割以上が独居老人であり、不慮の事故や詐欺被害防止の観点からハード・ソフト両面での支援を期待する。

下水道事業会計については、古い管路等の丁寧な調査と速やかな整備及び維持管理強化に励まされたい。病院事業会計については、現状の改善策として診療体制の見直し、現状分析と収益増加策、経費の削減の3つを最優先に取り組むとのことだが、まずは間接費の見直しを検討し、患者と医療従事者に極力影響がないよう工夫して財政健全化に努めていただきたい。

◎公明党

多くの市民が期待する駅周辺整備事業の一旦停止を踏まえ、今後の財政健全化のためには行政改革が必須条件と考える。行政改革には議員、職員一人ひとりの意識改革が要であり、民間に学ぶべきものは積極的に取り入れ、市民の声に応えていくべきと思う。

各特別会計では、安定的な事業運営によっていかに安心安全な市民生活を提供できるかが重要である。小さな地方都市においては、市立病院の役割は非常に大きく、万が一の時には急性期医療を受けることができるという安心感を与えている。また、高齢者や自営業者、低所得者などに対するサービスや、公営住宅、下水道の補修整備を継続することで、将来に向けた安心な暮らしを提供していただきたい。

◎日本共産党

本市の財政運営の最重要事項と位置付けている滝川市立病院の健全経営に向けて、「滝川市立病院経営強化プラン」に基づき強化するとしている取り組みの一つに、地域連携の強化が挙げられている。昨年、中空知地域が地域医療構想モデル推進区域に北海道内で唯一選ばれたことから、国や北海道からの支援を受けながら地域内の病院と機能分化・連携を行い、市立病院の経営改善に取り組むとしている。中空知地域の住民が等しく安心して医療を受け続けることができるよう取り組んでいただきたい。